

OKAMURA REPORT

第83期 中間報告書

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日 証券コード：7994



okamura

株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当第83期中間報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、米国の政策動向、中国及び新興国経済の先行き懸念など、依然として不透明感が残るものの、企業収益や雇用環境は引き続き改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータル・ソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高113,327百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益4,702百万円（前年同四半期比7.9%減）、経常利益5,334百万円（前年同四半期比3.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,645百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

なお、2018年4月1日より、次世代への飛躍を目指して、社名を「株式会社オカムラ」に変更することを、定時株主総会にて決議しております。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
中村 雅行

2017年12月

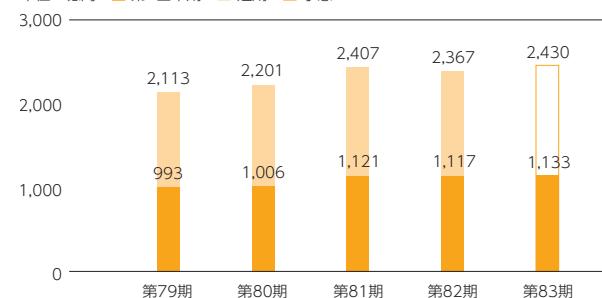
第2四半期連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

売上高

1,133億円（前年同四半期比 1.4%増）

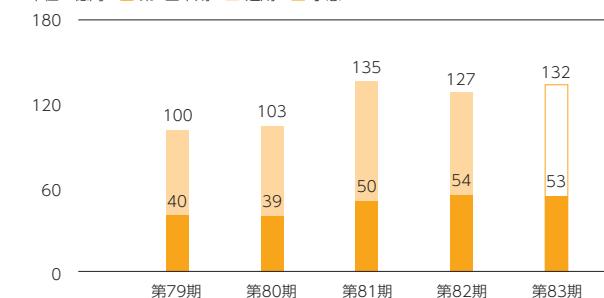
単位：億円 ■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想



経常利益

53億円（前年同四半期比 3.0%減）

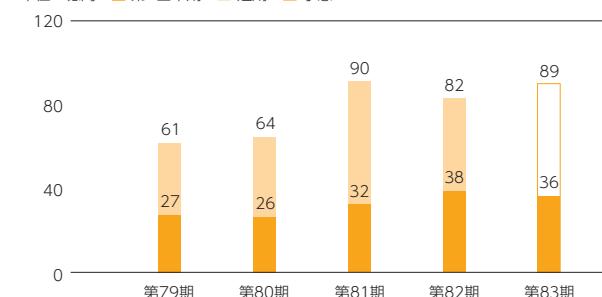
単位：億円 ■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

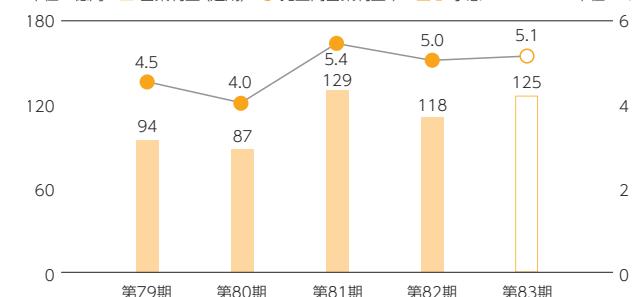
36億円（前年同四半期比 4.5%減）

単位：億円 ■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想



売上高営業利益率

単位：億円 ■ 営業利益(通期) ● 売上高営業利益率 □ 予想



- 5月
- ミーティングチェア「pirouette」シリーズと立ち姿勢サポートデスク「stafit」が「UNIVERSAL DESIGN COMPETITION 2017」受賞
 - 「アジア・シームレス物流フォーラム2017」出展
 - 「R&Dセミナー2017」開催
 - 「自治体総合フェア2017」出展

- 6月
- 「NeoCon2017」出展 **TOPICS 1**
 - 「2018学習家具新製品発表会」開催
 - 「第30回インターフェックスジャパン」出展

- 7月
- 「国際モダンホスピタルショー2017」出展
 - 「教育施設リニューアル展」出展
 - 「かながわ・しごと・技能体験フェスタ2017」出展
 - 「OKAMURA Design Space R vol.15」開催 **TOPICS 2**

- 8月
- 立ち姿勢サポートデスク「stafit」とハイスツール「PINO」が「第11回キッズデザイン賞」受賞

- 9月
- 「JASIS2017」出展
 - 「スタジアム&アリーナ2017」出展
 - 「フードディストリビューション2017」出展
 - 「stafit」「PINO」が第11回キッズデザイン賞「奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞」受賞 **TOPICS 3**
 - 「WORK MILL with Forbes JAPAN ISSUE 01」創刊

FIRST HALF TOPICS

TOPICS 1

「NeoCon2017」出展

6月12日～14日の3日間、アメリカ・シカゴにて開催された「NeoCon2017」に、10回目の出展をしました。今年は「Alt Piazza (アルトピアッツァ)」「SW (日本名:swift (スイフト))」「muffle (マッフル)」など、ワークスペースの提案において有効なアイテムに絞って展示。シカゴの大手デザイン会社に展示内装を依頼したことも功を奏し、連日盛況を博しました。



TOPICS 3

「stafit」「PINO」が「奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞」受賞

2017年8月に「第11回キッズデザイン賞」(主催: NPO法人 キッズデザイン協議会)を受賞した「stafit (スタフィット)」と「PINO (ピーノ)」が、上位賞の「奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞」を受賞しました。「stafit」と「PINO」は、中学校などの教育施設におけるアクティブラーニング向けの昇降デスクとハイスツールです。さまざまな学習スタイルに合わせた姿勢をとりやすく、子どもたちが自主性を持って学習するのに適しています。



stafit



PINO

TOPICS 2

「OKAMURA Design Space R vol.15 (ODS-R)」開催

「建築家と建築以外の領域の表現者との協働」をコンセプトに毎年開催されているODS-R。今年は7月26日～8月10日に開催。企画建築家に阿部仁史氏を、協働者にWOW (ビジュアルデザイン)を迎え、「Cloud of Thoughts」をテーマに過去・現在・未来が交錯する会議室を構築し、多様な価値観を持つ人々が相互に刺激し合う場を生み出しました。



Profile

建築家 阿部 仁史氏

仙台とロサンゼルスに拠点を置く建築および都市デザインスタジオ、AHA主宰。スタジアムやコンサートホールから個人住宅、家具まで、さまざまなスケールで環境デザインを手がける。2007年よりUCLA建築・都市デザイン学科教授を務め、ロサンゼルスに拠点を移して現在に至る。2017年、建築領域の拡張をリサーチするシンクタンク「X-Lab」を開設。



Profile

協働者
WOW (ビジュアルデザイン)

WOW

東京と仙台、ロンドンに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。CMやVIといった広告における多様な映像表現から、さまざまな展示スペースにおけるインスタレーション映像、メーカーと共同で開発するユーザーインターフェイスのデザインまで、既存のメディアやカテゴリーにとらわれない、幅広いデザインワークを展開。映像の新しい可能性を追求し続けている。

事業別セグメントの概況

Performance Results by Segment

オフィス環境事業

Office Furniture



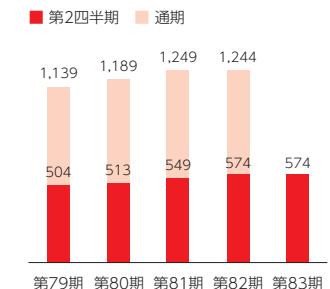
オフィス環境事業につきましては、オフィス需要は底堅いものの、大規模オフィスビルの供給は短期的な端境期にあり、大型移転案件の減少が見られました。このような状況のもと、オフィスでの働き方変革や健康への関心の高まりに対する新しいオフィス環境づくりを積極的に提案してまいりました。また、業績が好調な企業や学校、図書館や地方自治体等のオフィス周辺市場への積極的営業活動にも努めましたが、資材価格の上昇もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は横ばい、利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、57,422百万円(前年同四半期比0.0%増)、セグメント利益は、2,884百万円(前年同四半期比18.7%減)となりました。



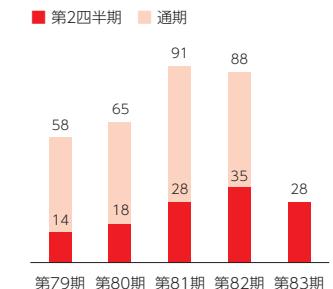
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



商環境事業

Store Displays



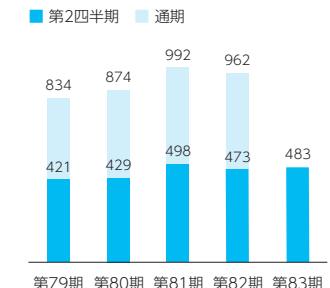
商環境事業につきましては、食品スーパー、ドラッグストアなど業績が好調な小売業界を中心に、店舗什器、カート機器、セキュリティー製品など総合力を活かしたトータル提案を強化し、冷凍冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、48,383百万円(前年同四半期比2.2%増)、セグメント利益は、1,708百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。



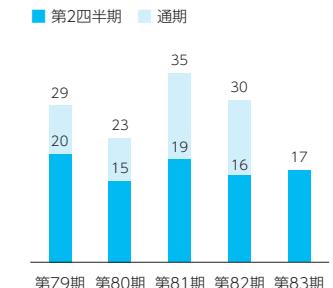
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



その他(物流機器事業他)

Material Handling Systems and Others



物流機器事業につきましては、食品、医薬、通販などの有力分野や自動倉庫の拡販に注力するとともに、他事業とのコラボレーションを強化し、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な営業活動に努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、7,521百万円(前年同四半期比8.2%増)、セグメント利益は、109百万円(前年同四半期は124百万円のセグメント損失)となりました。



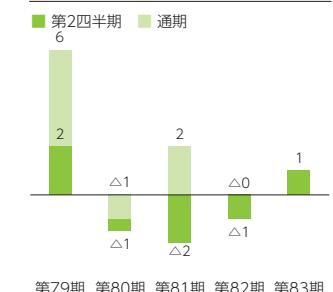
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



連結財務諸表(要約)

Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期 2017年9月30日現在	前期 2017年3月31日現在
資産の部		
流動資産	103,066	111,322
現金及び預金	28,084	26,536
受取手形及び売掛金 1	54,719	64,565
商品及び製品	10,279	10,113
仕掛品	1,812	1,467
原材料及び貯蔵品	4,472	4,384
その他	3,698	4,255
固定資産	111,910	107,419
有形固定資産	55,670	56,273
建物及び構築物	14,852	15,268
土地	27,900	28,072
その他	12,917	12,931
無形固定資産	4,271	4,523
のれん	11	18
その他	4,259	4,505
投資その他の資産	51,968	46,622
投資有価証券 2	37,495	32,632
その他	14,472	13,989
資産合計	214,977	218,741

POINT

1 受取手形及び売掛金

前期末から9,845百万円減少し、54,719百万円となりました。

2 投資有価証券

時価評価の上昇等により前期末から4,863百万円増加し、37,495百万円となりました。

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2017年9月30日現在	前期 2017年3月31日現在
負債の部		
流動負債	56,219	70,362
支払手形及び買掛金	25,606	30,007
電子記録債務	15,521	16,398
短期借入金	6,187	6,147
1年内返済予定の長期借入金	1,067	1,115
1年内償還予定の社債	—	5,000
その他	7,835	11,693
固定負債	40,262	34,129
社債	10,000	5,000
長期借入金	6,045	6,227
退職給付に係る負債	16,232	15,674
その他	7,984	7,227
負債合計	96,481	104,491
純資産の部		
株主資本	106,151	103,829
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,766	16,762
利益剰余金	73,140	70,819
自己株式	△ 2,425	△ 2,422
その他の包括利益累計額	12,025	9,860
非支配株主持分	317	559
純資産合計	118,495	114,249
負債純資産合計	214,977	218,741

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益5,333百万円、減価償却費2,696百万円及び売上債権の減少額9,845百万円等による増加と、賞与引当金の減少額1,297百万円、仕入債務の減少額4,929百万円及び法人税等の支払額2,910百万円等による減少の結果、7,655百万円の資金増加となりました。

四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 2017年4月 1日から 2017年9月30日まで	前第2四半期 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
売上高	113,327	111,708
売上原価	78,260	76,660
売上総利益	35,067	35,048
販売費及び一般管理費	30,365	29,941
営業利益	4,702	5,106
営業外収益	906	981
営業外費用	274	589
経常利益	5,334	5,498
特別利益	—	25
特別損失	1	—
税金等調整前四半期純利益	5,333	5,524
法人税、住民税及び事業税	1,014	1,200
法人税等調整額	666	468
四半期純利益	3,652	3,855
非支配株主に帰属する 四半期純利益	7	37
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,645	3,817

(単位:百万円)

4 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得2,101百万円及び投資有価証券の取得1,524百万円等による減少の結果、4,519百万円の支出となりました。

5 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額1,323百万円等の支出により、1,984百万円の支出となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 2017年4月 1日から 2017年9月30日まで	前第2四半期 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー 3	7,655	6,877
投資活動による キャッシュ・フロー 4	△4,519	△1,995
財務活動による キャッシュ・フロー 5	△1,984	△1,321
現金及び現金同等物に 係る換算差額	15	△407
現金及び現金同等物の 増減額	1,167	3,152
現金及び現金同等物の 期首残高	25,461	27,547
現金及び現金同等物の 四半期末残高	26,629	30,700

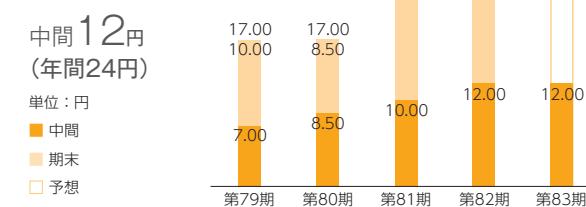
(単位:百万円)

配当金についての基本方針

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。

利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すとともに、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

配当金



※ 第81期期末につきましては、創立70周年記念配当4円を含みます。

中間12円
(年間24円)

単位:円

■ 中間

■ 期末

□ 予想

WORK MILL

働く環境を変え、
働き方を変え、
生き方を変える。

社会やビジネス環境がめまぐるしく変化し、企業や社会構造そのものも、そこにおける働き方も変わってきている時代。課題はさらに複雑化し、特定のソリューションだけでは解決することが難しくなっています。

オフィス家具づくりを中心に、半世紀以上働く環境について考え提供してきたオカムラが実施する働き方改革プロジェクト「WORK MILL(ワークミル)」。これからの働き方や働く場をさまざまなステークホルダーと共に考える多面的な活動を展開しています。

本プロジェクトを通じて新たな「はたらく」のヒントを得ながら、明日の社会を見つめ、考え、行動へとつなげています。

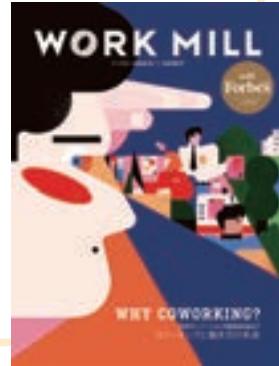
ウェブマガジン 配信

働き方の変化の激しい今、「はたらく」をより深く本質的に考えるため、さまざまな価値観を対象にオカムラ独自の取材、調査、編集を行い、オリジナルのコンテンツを毎週発信しています。



ビジネス誌 発刊

2017年9月27日、Forbes JAPAN編集部とタッグを組み、「はたらく」を考える新ビジネス誌『WORK MILL with Forbes JAPAN ISSUE 01』を創刊。グローバルな視点で働き方改革に向けたヒントを提供し、日本におけるより良い新しい働き方を生み出すことに貢献します。



共創空間 運営

組織や社会の抱える課題が複雑化する中で、多様なステークホルダーをオープンに受け入れ、対話を通じて解決しながら未来をめざす働き方が注目されています。東京・名古屋・

大阪の3都市・4拠点でオカムラが運営する「共創空間」では、課題解決と価値創造のためのさまざまな活動を育む場として、数々の企画やイベントなどを行っています。



Sea (東京)



Sew (東京)



Cue (名古屋)



bee (大阪)

会社情報 (2017年9月30日現在)

Corporate Data

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	112,391,530株
株主数	5,265名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,240	8.38
オカムラグループ従業員持株会	6,528	5.92
三菱商事株式会社	6,300	5.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,796	5.25
明治安田生命保険相互会社	5,600	5.08
新日鐵住金株式会社	5,313	4.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,805	4.36
三井住友海上火災保険株式会社	4,236	3.84
株式会社横浜銀行	4,076	3.69
オカムラ協会持株会	3,779	3.43

(注) 持株比率は、自己株式(2,065,652株)を控除して計算しております。

会社概要

設立	1946年7月
資本金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従業員数	3,347名

取締役及び監査役

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	中村 雅行	
専務取締役	佐藤 潔	管理本部長
専務取締役	岩下 博樹	マーケティング本部長
専務取締役	菊池 繁治	オフィス営業本部長
常務取締役	岩田 寿一	ヘルスケア事業本部長
常務取締役	土志田 貞一	企画本部長
常務取締役	山本文雄	商環境事業本部長
取締役(社外)	西浦 完司	三菱商事(株)常務執行役員金属グループCEO
取締役(社外)	浅野 広視	トア再保険(株)取締役
取締役(社外)	伊藤 裕慶	(株)キーストーン・パートナーズ監査役
取締役	小熊 誠次	デザイン本部長
取締役	金子 肇	海外営業本部長
取締役	山本 健一	生産本部長
取締役	井上 健	商環境事業本部東日本営業本部長
取締役	田尻 誠	物流システム事業本部長
取締役	牧野 博	テレコム営業本部長
取締役	酒徳 真司	商環境事業本部西日本営業本部長
取締役	河野 直木	オフィス営業本部首都圏営業本部長
監査役	守分 宣	
監査役	荒谷 克典	
監査役(社外)	鈴木 祐一	弁護士
監査役(社外)	岩本 繁	公認会計士

工場施設

追浜事業所
(神奈川県横須賀市)

富士事業所
(静岡県御殿場市)

㈱関西岡村製作所
(大阪府東大阪市)

鶴見事業所／シーダー(株)
(神奈川県横浜市鶴見区)

砂畑産業(株)
(東京都足立区)

つくば事業所
(茨城県つくば市)

御殿場事業所
(静岡県御殿場市)

㈱山陽オカムラ
(岡山県高梁市)

㈱富士精工本社
(石川県能美市)

杭州岡村伝動有限公司
(中国浙江省臨安市)

高島事業所
(山形県東置賜郡高島町)

中井事業所
(神奈川県足柄上郡中井町)

㈱エヌエスオカムラ
(岩手県釜石市)

Siam Okamura
Steel Co., Ltd.
(Bangyaprak, Phrapradaeng,
Samutprakarn, Thailand)

東莞誠美家具有限公司
(中国広東省東莞市)

関係会社

㈱関西岡村製作所

㈱オカムラ物流

㈱オカムラ サポート アンド サービス

㈱エヌエスオカムラ

㈱山陽オカムラ

㈱エフエム・ソリューション

㈱ヒル・インターナショナル

シーダー(株)

㈱富士精工本社

セック(株)

㈱Td Japan

㈱オカムラ ビジネス サポート
砂畑産業(株)

Okamura International
(Singapore) Pte., Ltd.

上海岡村家具物流設備有限公司

Salotto (China) Limited

Siam Okamura Steel Co., Ltd.

Siam Okamura International Co., Ltd.

杭州岡村伝動有限公司

PT. Okamura Chitose Indonesia

(他14社 合計34社)

主なショールーム・博物館

オカムラ ガーデンコートショールーム (東京都千代田区紀尾井町)

オカムラ 仙台ショールーム (仙台市青葉区花京院)

オカムラ 名古屋ショールーム (名古屋市中村区名駅)

オカムラ 大阪ショールーム (大阪市北区大深町)

オカムラ 福岡ショールーム (福岡市博多区博多駅前)

オカムラVitra店舗用什器ショールーム (東京都千代田区内神田)

オカムラいすの博物館 (東京都千代田区永田町)

▶ インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。

オカムラウェブサイト <http://www.okamura.co.jp/>

オカムラ

検索

■ 株主メモ

決算期

3月31日

定時株主総会

6月下旬

基準日

3月31日

公告掲載新聞

日本経済新聞

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)

郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について

○ 証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。

○ 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。

よい品は結局おトクです

オカムラ
株式会社 岡村製作所

〒220-0004

横浜市西区北幸二丁目7番18号

TEL : 045-319-3401 (代)

